

# 情報連絡員報告 4月

2008.4

April

## 原材料価格高騰分の転嫁は未だ進まず

各項目のDIの動き（前月比）(^^ 好転 ○ 不変 × 悪化)

	全 体	製 造 業	非製造業
売 上 高	-32.1	-27.8	-34.9
在 庫 数 量	-7.1	-4.7	-9.7
販 売 価 格	2.0	0.0	3.5
取 引 条 件	-28.7	-35.9	-26.7
収 益 状 況	-58.7	-45.3	-59.3
資 金 繰 り	-30.0	-29.7	-38.2
設備操業度	-37.5	-37.5	
雇 用 人 員	-15.3	-18.8	-12.8
業界の景況	-57.3	-61.0	-54.7

## ✓ 行政庁・中央会に対する主要要望事項

集計上の分類業種	具体的な業種	組合及び組合員の業況等
織維・同製品	帆布製品製造業	物価高騰で経費が増える一方の状況を開拓するため、国、自治体が一日も早く物価安定施策を実施することを強く望む。中小企業の従事者が安心して働くよう努力してほしい。
木材・木製品	建具製造業	内需拡大策を実施し、中小企業の救済策を講じてほしい。
鉄鋼・金属	鍛金加工業	ものづくり技術の推進、人材育成に前向きに取り組んでほしい。廃業事業者が土壤汚染の除去を行う際、支援制度を設けてほしい。廃業事業者は多額の費用負担が困難で対応できない。
食 料 品	麵類製造業	ガソリンの暫定税率の廃止を望む。
小 売 業	調味料小売業	大企業の廉売に圧迫されている。仕入れ等における取引条件の中小企業との格差を是正してほしい。
	青果小売業	青森県産のニンニクの卸値kg3,000円に対して中国産は150円。食の安全志向は消費者物価の上昇につながっている。安心して輸入野菜を利用できるよう、何らかの安全証明書の発行やトレーサビリティシステムを確立してほしい。
サービス業	自動車整備業	暫定税率の件では現場は大変に混乱した。事業者への配慮を求む。

平成20年  
4月

# 業界の声



## 製造業

集計上の分類業種	具体的な業種	組合及び組合員の業況等
食料品	麵類製造業	年初来の価格改定で売上は伸びている。4月の小麦粉価格の20%値上げに伴う5月中の麵価の改訂は困難で6月にずれ込む予定。
	製粉製造業	現時点では小麦粉価格の値上げをユーザーは受け入れているが、さらなる価格改定が予定されているため、先行きが不安。新たな食糧政策における外麦の値幅制限が問題になっている。
繊維・同製品	洋服製造業	売れ行き不振で業界全体の景気は底冷え。材料価格や最低賃金の値上げの影響が出ている。
	帽子製造業	スポーツ用の帽子（ゴルフハット、登山帽、野球帽）が売れている。高級志向で単価の高い国産品に人気がある。
	帆布製品製造業	組合員の売上げ・収益の状況は前年と対比して軒並みに悪化している。今後の見通しについてもさらなる悪化が懸念される。
	ニット製品製造業	消費者はファッショングループの消費を抑えている。高付加価値の「メイドインジャパン」は高価で、売り上げに陰りが見える。
木材・木製品	建具製造業	原材料の高騰から経営状況は極めて悪い。住宅着工件数も伸び悩み、一向に明るさが見えない。利益率は悪いが、細かな仕事を数多くこなし、食いつないでいるのが現状。
印刷	印刷業	主要製紙メーカー各社が6月より一斉に用紙価格を値上げする予定。古紙偽装問題が解決していない状況では顧客への価格転嫁することが困難。
化学ゴム	ゴム製品製造業	原材料の高騰と円高による輸出の悪化が収益を圧迫させている。
	塗料製造業	改正建築基準法改正に伴う建築工事の減少が回復しないため塗料価格の値上げは困難。輸出を除き荷動きは良くない。製品の値上げ率を遙かに上回る原料価格の高騰で収益が圧迫されている。
窯業・土石製品	生コンクリート製造業	対前年同月比で20%以上の出荷量減少。セメント代高騰前の契約案件については逆ざやで赤字となっている。
	セメント製品製造業	4月の暫定税率延長停止の影響で道路用のコンクリート製品の受注がなく非常に厳しい状況。
鉄鋼・金属	ダイカスト製品製造業	自動車関連が低調。景況感が一気に悪化した。
	電線製造業	電器機械用・自動車用電線の需要は増。通信用・電力用・建設用電線の需要は減。全体の売上げは減少となった。
	鋳物製造業	原材料・副資材の仕入れ価格高騰分を製品価格に転嫁する交渉を全国的に行っていながら実績につながっていない。
	ねじ類製造業	原材料価格高騰による収益の悪化。値上げ交渉に苦慮
	鍍金加工業	組合員間で好不況の差が拡大している。材料価格高騰分の価格転嫁は困難。
一般機器	木工機械器具製造業	住宅着工件数は前年同月比で減少
その他の製造業	スポーツ用品製造業	メジャーリングや若手の活躍するゴルフトーナメント、さらにはオリンピックと「見るスポーツ」は全盛だがスポーツ人口の増加にはつながらずスポーツ用品の売上げにはつながっていない。
	ガス圧接業	建築基準法改正の影響が残り先行きが不透明。

平成20年  
4月

# 業界の声



## 非製造業

集計上の分類業種	具体的な業種	組合及び組合員の業況等
卸売業	玩具卸売業	ゴールデンウィークを面向けた品揃えため取引が活発化すると見られていたが、小売店が消費はレジャーに向かわれると判断したため取引は停滞した。
	食品卸売業	あらゆる食料品が値上げしている。中国食品が問題にされ自給率を無視した国産品の要請が強い。
	理容用品卸売業	理容店舗のリニューアルは20%の売上げ増をもたらすとされる。理容組合の全国組織と理容用品業界が協力して「活気あふれる店創り」を目指した「理容チョキちゃんサロン、活き活きプログラム」(店舗リニューアル促進キャンペーン)を展開し業界の活性化を図っている。
	美容用品卸売業	上部団体の全美商連は組合員が減少傾向にある。
	建設資材卸売業	組合の共同購買事業は対前年同月比で81%。数社の廃業情報が入っている。
	紙製品卸売業	メーカーは価格値上げしたがエンドユーザーである出版・印刷業界は価格転嫁していない。卸段階では売上げ減少。
	電線卸売業	例年3月・4月期は出荷量が増加していたが、今年は住宅着工件数の鈍化で荷動きがすこぶる鈍い。各社にいらだちが見られる。
	ニット製品卸売業	企業間競争が激化している。強い企業では生産・流通・卸・小売の一貫体制が進行しつつあり、企業間格差が拡がっている。
小売業	中古自動車小売業	販売状況は引き続き低調。好調であった中古車輸出は、海外のバイヤーがサブライムローン問題の影響で資金調達状況が悪化したことで低迷している。
	古書籍小売業	教養・娯楽・趣味の分野に属する書籍小売業界は景気動向に影響を受けやすく、不振が続いている。
	二輪自動車小売業	都内の駐車違反取り締まりによりバイクユーザーが悲鳴を上げている。
	鳥獣小売業	十和田湖で鳥インフルエンザウイルスH5N1型(強毒性)に感染した白鳥が確認されたことで養鶏業者等は打撃を受けているが、我々ペット業界では鳥類の飼育が敬遠される等悪影響が出ている。
	青果小売業	雨量が多く野菜類全般が不作で、高値で推移している。
	電器製品小売業	新生活シーズンで一人暮らし用の小型家電製品の動きがある。全般的に荷動きは活況だったが、単価が低いため売上高は前年並み。液晶デジタルテレビの売れ筋が小型化。売上高が減少。
	化粧品小売業	従来、年度末をもっての廃業が多いが、4月になっても廃業組合員が相次いでいる。
商店街	目黒区	4月に入り売上げは増加しているが、仕入れコストの高騰で相殺されている。
	銀座	中国人観光客が増加している中で売上げに結びつけることが課題となっている。
	赤坂	TBSサカスのオープンにより来訪者が急増、軽飲食を中心に活性化している。終日営業の導入等、営業形態にも変化が見られる。ただし好影響は高級物販店にまでは及んでいない。
サービス業	公衆浴場業	入浴料金の算定を東京都から依頼されている。都職員とともに試算作業を行っている。
	複写業	感光紙・紙製品の値上げ分の顧客への価格転嫁には時間を要する。
	クリーニング業	消費者の節約意識が高まっている。本当にドライクリーニングが必要な場合を除き家庭洗濯が定着しつつある。
運送業	港湾運送業	本年度は新卒採用者が各社とも少ない。収益状況は増益を計上している。